第四講『俊頼髄脳』

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

わすれ草我が下紐につけたれど鬼のしこ草ことにしありけり

わすれ草かきもしみみに植ゑたれど鬼のしこ草なほおひにけり

鬼のしこ草といへ①るは、むかし、人の親、子を二人もたりけり。親うせにけ②るのち、恋ひ悲しぶこと、年をふれどもわすらるることなし。むかしは、うせたる人をば、塚にをさめければ、恋しきたびに、あにをとと、Aうち具しつつ、かの塚のもとにゆきむかひて、涙をながして、我が身にあるうれへをも嘆きをも、生きた③る親などに向ひていはむやうに、いひつつ帰りけり。兄の男、年月つもりて、おほやけにつかへ、わたくしを顧るにも、たへがたき事どもありて、思ひけるやう、「ただにては、思ひなぐさむべきやうもなし。萱草（わすれぐさ）といふ草こそ、人の思ひをばわすらかすなれ」とて、萱草を、その塚のほとりに植ゑつ。そののち、弟つねにきて、「れいの御墓へやBまゐる」とさそひけれども、さはりがちになりて、具せずのみなりにけり。この弟の男、いと憂しと思ひて、この人を恋ひ申すにこそかかりて、日をくらし、夜をあかし

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

つれば、「我はわすれ申さじ」とて、「紫苑（しをん）といへる草こそ、心におぼゆ④る事はわすられざなれ」とて、紫苑を、塚のほとりに植ゑてみければ、いよいよわする［C］る事なくて、日をへてしあるきけるを見て、塚のうちに声ありて、「我は、その親のかばねをまもる鬼なり。ねがはくはおそるる事なかれ。君をまもらむと思ふ」と言ひければ、おそりながら聞き居りければ、君は親に孝ある事、年月を送れども、かはる事なし。兄のぬしは、おなじく恋ひ悲しみて見えしかど、思ひわすれ草を植ゑて、その［D］しるしを得たり。［E］そこは、紫苑を植ゑて、またそのしるしを得たり。心ざしねんごろにして、あはれぶ所すくなからず。我、鬼のかたちを得たれども、物をあはれぶ心あり。また、日のうちの事を、さとる事あり。見えむ所あらば、夢をもちて示さむ［F］と言ひて、声やみ、また、そののち、日のうちにあるべき事を、夢に見る事おこたりなし。これを聞けば、紫苑をば、［G］事あらむ人は、植ゑて常に見るべきなり。［H］事あらむ人は、植うべからぬ草なり。されば、「万葉集にも、萱草をば、しこの草とは書け⑤るなり」とぞ人申しける。

（『俊頼髄脳』より）

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　傍線部Ａ「うち具しつつ」の意味として最も適当なものを次のア～オから選べ。

ア　準備を整えながら
イ　心の内を話しながら
ウ　供え物を持ちながら
エ　連れ添いながら
オ　ともに暮らしながら

問二　傍線部Ｂ「まゐる」の敬意の対象として最も適当なものを次のア～オから選べ。

ア　親　　イ　兄　　ウ　弟　　エ　鬼　　オ　おほやけ

問三　傍線部Ｃ「る」と文法上同じ働きのものを問題文中の波傍線部①～⑤から選べ。

問四　傍線部Ｄ「しるし」の意味として最も適当なものを次のア～オから選べ。

ア　証拠　　イ　効果　　ウ　合図　　エ　是非　　オ　病気

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問五　傍線部Ｅ「そこ」が指すものとして最も適当なものを次のア〜オから選べ。

ア　親　　イ　兄　　ウ　弟　　エ　塚　　オ　夢

問六　傍線部Ｆ「と言ひて」とあるが、この発言はどこから始まるものか。最も適当なものを次のア〜オから選べ。

ア　おそりながら聞き居りければ
イ　君は親に孝ある事
ウ　兄のぬしは、おなじく恋ひ悲しみて見えしかど
エ　我、鬼のかたちを得たれども
オ　夢をもちて示さむ

問七　空欄［Ｇ］と［Ｈ］に入る最も適当な語句の組み合わせを次のア〜オから選べ。

ア　Ｇ　うれしき　　Ｈ　嘆く
イ　Ｇ　かなしき　　Ｈ　喜ぶ
ウ　Ｇ　たのしき　　Ｈ　失ふ
エ　Ｇ　はかなき　　Ｈ　忍ぶ
オ　Ｇ　ゆゆしき　　Ｈ　急ぐ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問八　この文章の内容に合致しないものを次のア～オから二つ選べ。

ア　兄のほうは宮仕えに差し障りが生じ、家の中でも耐え難いことがおこってしまい、塚のそばに萱草を植えた。
イ　弟のほうは、兄がたびたび都合が悪く親の墓参りに行けなくなってしまったのを非常に不本意に思った。
ウ　弟が紫苑の草を塚に植えたのは、それが心に刻んだことを忘れさせない草だからであった。
エ　塚の内から鬼の声が聞こえてきて、自分は親の屍を守護する鬼であり、怖がる必要はないと言った。
オ　弟は、その日のうちに行なうべき事を鬼から夢で欠かさず告げられるようになった。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　復習問題

① 「そこたちの事」の現代語訳として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　出立するということ　イ　あなた方のこと　ウ　馬二疋を借りたいということ
エ　あれやこれやの事情　オ　ここで起きた出来事

② 「中頃、広言・康頼こそ、<u>具して</u>歌ふ者にてあれ。」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

ア　伴って　イ　喜んで　ウ　いやいや　エ　真面目に

③ 「頼みきてひさしくなりぬ住吉のまづこのたびの<u>しるし見せなむ</u>」の傍線部の意味として、最も適当なものを次の中から選べ。

注　住吉…住吉明神。住吉大社は和泉国にある。

ア　霊験を見せてほしいと神に願っている。
イ　祟（たた）りの理由を教えてほしいと頼んでいる。
ウ　自分の信仰の証拠が見せられないことを嘆いている。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

④　文中の空欄Ａ・Ｂに入る最も適当な語を、それぞれ後の中から選べ。ただし、いずれについても、空欄の箇所にふさわしく活用させた語形が入るものとする。また、同じ記号を二度用いてはならない。

［Ａ］されて起きたるに、「あなはかなや。〈中略〉あまた子どもありといへども、をのれ一人に三千の寵愛も、みな尽くしたる心地を思ふ。笑めるを見ては、百（もも）の媚（こび）ありと思ふ。［Ｂ］たる気色を見ては、ともに嘆く心ありて十五年の春秋を送り迎へて…」

ア　うれふ　　イ　おこたる　　ウ　おどろく　　エ　わかる

Ａ＝　　　　Ｂ＝

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第四講　模範解答

問一　エ　**問二**　ア　**問三**　④　**問四**　イ
問五　ウ　**問六**　イ　**問七**　ア　**問八**　ア・オ

〈現代語訳〉

わすれ草……＝（恋の苦しさを忘れるという）忘れ草を、私の下袴の紐につけたけれど、鬼のしこ草で役に立たず、忘れ草というのは名ばかりだったなあ。

わすれ草……＝忘れ草を垣根いっぱいに植えたけれど（恋しい人を忘れられない。ということは忘れ草ではなく）鬼のしこ草が生えてしまったのだなあ。

鬼のしこ草と言っているのは、昔、（ある）人の親が、子を二人持っていた。（この）親が亡くなってしまった後に、（子供が亡くなった親を）恋い慕い悲しむことは、年がたっても忘れることがない。昔は、亡くなった人（の亡骸）を、土を盛って葬ったので、（亡くなった親のことを）恋しくなるごとに、兄弟が、連れ添いながら、親を葬った墓のもとに出かけて行って、涙を流して、兄弟それぞれが持っている心配事や嘆きなどをも、（あたかも）生きている親に向かって言うように、何度も言っては帰って来た。（そうしている間に）兄の男が、年月が積もって、宮仕えをしていて、個人的な過去を思い続けることについても、差し障りになることなどがあって、思ったことは、「普通のやり方では、（悲しい）思いを慰めることができる方法もない。忘れ草という草が、人の思いを忘れさせてくれるらしい」と思って、忘れ草を、親の墓のそばに植えた。その後、弟がしょっちゅう来て、「いつものようにお墓に参りますか」と誘ったけれども、支障が起こりがちになって、連れ添って行けなくなってしまった。（それを）この弟の男が、大変に不本意だと思って、亡くなった親を恋い慕い申し上げることにかかりきりになって、日を過ごし、夜を明かしていたので、「私は（亡くなった親を）お忘れ申し上げないようにしよう」と思って、「紫苑という草が、心に刻んだことを忘れられない（効能を持つ）そうだ」と思って、紫苑を、墓のそばに植えてみたところ、ますます（親を）忘れることがなくて、月日がたっても（墓参りを）し続けていたのを（鬼が）見て、墓の中から声がして、「私は、お前の親の亡骸を守る鬼

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

である。願うことには恐れるな。（私は、お前の親の亡骸だけではなく）お前も守ろうと思う」と言ったので、（弟の男は）恐れながら聞いていたところ、「お前は親に孝行心があることは、年月がたっても、変わることがない。兄君は、（以前はお前と）同じように（亡くなった親を）恋し慕い悲しんでいるように見えたけれども、思いを忘れる忘れ草を植えて、その（忘れるという）効果を手に入れた。お前は、紫苑を植えて、またその（忘れないという）効果を手に入れた。（お前の、親を恋い慕う）心掛けは熱心で、大いに感心に思う。私は、鬼の姿をしているけれども、物事をあわれに思う心がある。また、（私には）その日のうちに起こる出来事を、予知する能力がある。（私が）予知するような出来事があるならば、（お前が見る）夢を通じて示そう」と言って、声は止み、そしてまた、その後、その日のうちに起こるはずの出来事を、（弟は）必ず夢に見るようになった。これを聞くと、紫苑という草を、嬉しいことがあるような人は、植えて常に見るべきである。嘆くことがあるような人は、（紫苑という草は）植えてはならない草である。だから、「『万葉集』にも、忘れ草を、しこの草とは書いているのである」とある人が申していた。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

〔重要単語〕

○ぐす【具す】…①備わる。　②**一緒に行く**。

○うれへ【憂へ・愁へ】…①**悲しみ**。　②嘆き訴えること。　③**心配**。

○おほやけ【公】…①天皇。　②**朝廷**。政府。　③国家。**世間**。

○さはり【障り】…**さしつかえ**。**さまたげ**。

○うし【憂し】…①**つらい**。　②**いやだ**。　③にくい。　④無情だ。

○しるし【徴・験】…①**前兆**。　②**霊験**。**ききめ**。

【標・印・証】…①目印。　②証拠。　③合図。

【著し】…①**きわだっている**。　②予想通りだ。

○そこ…①そこ。　②それ。　③**あなた**。

○ねんごろなり【懇ろなり】…①親切なさま。**ていねいなさま**。**熱心だ**。　②**親しみ深いさま**。　③まともなさま。

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

復習問題　第四講　解答解説

〔解説〕

① 大学入試問題で「そこ」の意味を聞かれたら、まずは「あなた・あなたたち」の意味で考えること。よって、正解はイ。

② 「具す」は重要単語で「備わる・一緒に行く」の意味。よって、正解はア。

③ 「しるし」も重要単語で「効果・霊験」の意味。「証拠」の意味もあるが、「見せなむ」の「なむ」は、未然形か連用形についているため、他者願望の終助詞か確述用法。選択肢ウの訳のように「見せられない」という打消や不可能の意味にはならないので、正解はアとわかり、選択肢からこの「なむ」は他者願望だと判断できる。

④ 空欄補充の問題だが、選択肢から係助詞絡みの問題ではなく単語を選ぶ問題。このような場合は**空欄の前後をよく読み、単語の意味を考えて正解を選ぶ**こと。Aは、後ろが「～されて起きた」なので、「目を覚ます」の意味になるウが正解（目を覚まされて起きた）。Bは、前が「笑めるを見ては、百の媚ありと思ふ」なので、プラスを見てはプラスの気持ちになるとわかればよい。後ろは「～気色を見ては、ともに嘆く」なので、Bにはマイナスが入るとわかる。よって、「悲しむ」の意味になるアが正解。

〔解答〕

①　イ　　②　ア　　③　ア　　④　A　ウ　　B　ア

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。